



SPECIFICATIONS	
仕様	
プランジャストローク	53.5 mm
ジョーストローク(直径で)	外径 33 mm
	内径 17 mm
把握径	最大 590 mm
	最小 235 mm
最大静的把握力 (エア圧 0.5MPa(5.1kgf/cm ²))	120 kN (12230 kgf)
許容最高回転速度	1100 min ⁻¹
質量	365 kg
慣性モーメント	19.7 Kg·m ²
最大使用エア圧力	0.5 MPa (5.1 kgf/cm ²)

上記仕様はソフトジョー付で許容最大入力時の場合
また最大静的把握力、および許容最高回転速度については
ソフトジョーの面上高さの1/2での理論値を示す

要注意

1. チャック内圧減少の検知について (内圧検知が出荷時設定の場合)
 - A) チャックへのエア供給時、供給エア圧力が0.35MPaに達するまでに、フェクタプレートBがチャック前方のストロークエンドまで4mm移動します。エア供給直後に一度だけフェクタプレートBが動作する場合があります。近接スイッチの誤検知を防ぐため、エア供給直後の動作間は近接スイッチによる検知を行わないように配慮して下さい。
 - B) チャック内のエア圧力減少時、チャック内のエア圧力が 0.175~0.225MPaに達するまでに、フェクタプレートBがチャック後方(主軸側)のストロークエンドまで4mm移動します。
2. チャックへのエア供給時は、チャックの回転部分と固定部分、図の位相となるよう、オリエンテーションを行って下さい。他の位相ではエア供給が行われません。
3. 切換弁は必ず3位置エキソセントリクを使用して下さい。(切換弁を把握操作し、ジョーが工作物を把握した後、切換弁を中立位置へ戻して下さい。)
4. 回転中、チャックへのエア供給はしないで下さい。把握不良・部品破損の原因になります。
5. エアフィルタ、レギュレータ及びリリケータは必ず取付けて下さい。
6. 近接スイッチ及び、サポートは寄先にて手配下さい。
7. 本チャックは外圧把握専用です。また、早速ストロークでは、ワークを把握しないでください。
8. 本チャックは、立向まで使用できません。チャックのエア配管内に切削水が入ると、把握不良・部品破損の原因になります。

図面来歴		尺度	形式	UPR600	重量	kg
部長	課長	係長	主任	設計	CAD	
			1:3	名称		
			三角法	プロト中空エアチャック 600		
				名称		
				UPR600		
				ガイケイ		
株式会社	北川鉄工所	作成年月日	図面番号	61P 26 9495		